

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 631 号	氏名	伊藤（池田）直樹
学 位 審 査 委 員		主 査	齋藤俊行
		副 査	林 善彦
		副 査	澤瀬 隆
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価			
本研究は、簡便な歯科治療恐怖症試験紙 the short version of the Dental Anxiety Inventory (S-DAI) の日本語版を作成し、現在唯一日本語版の確立された歯科治療恐怖症試験紙 である Dental Fear Scale (DFS) と比較し、妥当性有効性を検討したもので目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価			
まず原著者に許可を得た上で日本語版 S-DAI の翻訳・作成を行い、来院した患者さんに治療前に2つの質問紙票に同時に記入してもらうことで内的妥当性と外的妥当性について、因子分析を含む種々の統計学的解析法で解析したもので、研究手法も適切である。			
3 解析・考察の評価			
上記手法で解析した結果、日本語版 S-DAI は質問紙として、オリジナルのものと同様の内部整合性が確認された。また S-DAI と DFS は高い相関を示し、基準関連妥当性に問題はなかった。この簡便な S-DAI 日本語版を国内で使用するによって、あらかじめ恐怖心の強い患者に適切に対応できるなど、歯科恐怖症の発症に対して予防的に利用できることから、今後の歯科恐怖症に関する臨床研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は今後の歯科恐怖症に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。			